

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成19年5月31日(2007.5.31)

【公開番号】特開2005-323840(P2005-323840A)

【公開日】平成17年11月24日(2005.11.24)

【年通号数】公開・登録公報2005-046

【出願番号】特願2004-145035(P2004-145035)

【国際特許分類】

A 47B 81/00 (2006.01)

【F I】

A 47B 81/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成19年4月9日(2007.4.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

この収納装置100は、直方体形状の筐体部110を有している。この筐体部110には、図2に示すように、正面側に収納口121_{..1}~121_{..9}を持つ9個の四角筒形状の収納部本体120_{..1}~120_{..9}が形成されている。これら収納部本体120_{..1}~120_{..9}は、マトリックス状に配置されている。また、筐体部110には、図1に示すように、収納部本体120_{..1}~120_{..9}のそれぞれに対応して、その収納口121_{..1}~121_{..9}を覆うための平板部130_{..1}~130_{..9}が、着脱自在に取り付けられている。なお、図1は、平板部130_{..1}~130_{..9}を取り付けた状態を示しており、図2は平板部130_{..1}~130_{..9}を取り外した状態を示している。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0035

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0035】

収納部本体120_{..1}および平板部130_{..1}は上述したように構成されており、平板部130_{..1}は収納部本体120_{..1}の収納口121_{..1}に対応して、着脱自在に取り付けることができる。図6は、平板部130_{..1}が収納口121_{..1}を覆っている閉蓋状態を示している。この閉蓋状態では、ユーザがリモコン150を操作してロックモードとすることで、平板部130_{..1}のロック機構145を構成する爪部146が、収納口121_{..1}の段差部122に設けられた爪挿入孔125に挿入され、ロック状態となる。図7は、収納口121_{..1}が開放された開蓋状態を示している。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0036

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0036】

なお、平板部130_{..1}を収納部本体120_{..1}の収納口121_{..1}の部分から容易に取り外すことができるので、平板部130_{..1}の分離使用を容易に行うことができる。平板部130_{..1}

0_1は、取り外されたときには、普通のテレビ受信機として利用できる。上述したアンテナ線接続端子141およびAC電源ケーブル接続端子142は、平板部130_1を上述したように取り外して普通のテレビ受信機として使用する際に必要となるものである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0039

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0039】

アンテナ線分配器204は、アンテナ端子180に入力された放送信号BSを、テレビボックス部205_1～205_9に分配する。スイッチャ203は、テレビボックス部205_1～205_9からの画像信号SVおよび外部画像入力端子182に入力された画像信号SVを入力し、テレビボックス部205_1～205_9への画像信号SVを出力する。また、このスイッチャ203は、テレビボックス部205_1～205_9からの音声信号SAおよび外部音声入力端子184に入力された音声信号SAを入力し、テレビボックス部205_1～205_9のスピーカ139L, 139Rやスピーカ140L, 140Rへの音声信号SAを出力する。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0042

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0042】

このテレビボックス部205_1は、リモコン信号RMの入力端子301、放送信号BSの入力端子302、画像信号SVの入力端子303、画像信号SVの出力端子304、音声信号SAの出力端子305、音声信号SAの入力端子306を有している。これら端子301～306は、上述した接続端子135(図4参照)を構成している。また、このテレビボックス部205_1は、アンテナ線接続端子141を有している。この接続端子141は、チューナ312に接続されている。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0108

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0108】

指定されたテレビボックス部では、当該リモコン信号RMに基づいて、制御部311が信号処理部313を制御し、入力端子303に入力された画像信号SVに対してIP変換処理、さらにはスチル処理を行い、処理後の画像信号を画像表示素子131に供給する。これにより、指定されたテレビボックス部の画像表示素子131に、指定されたジャケットまたはズボン(スカート)が表示された状態となる。これにより、任意のジャケットおよびズボン(スカート)を組み合わせた表示が可能となる。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0129

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0129】

図20のフローチャートは、ミラー表示処理を示している。まず、ステップST221で、処理を開始し、ステップST222で、自己の撮像素子132の出力を使用するか否かを判定する。自己の撮像出力を使用するときは、ステップST223で、撮像出力をス

イッチャ 2 0 3 に出力し、その後にステップ S T 2 2 4 に進む。ステップ S T 2 2 2 で、自己の撮像出力を使用しないときは、直ちにステップ S T 2 2 4 に進む。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 3 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 3 0】

ステップ S T 2 2 4 では、自己の記録装置 3 1 4 の再生出力（過去画像信号または衣服表示用画像信号）を使用するか否かを判定する。自己の記録装置 3 1 4 の再生出力を使用するときは、ステップ S T 2 2 5 で、再生出力をスイッチャ 2 0 3 に出力し、その後にステップ S T 2 2 6 に進む。ステップ S T 2 2 4 で、自己の記録装置 3 1 4 の再生出力を使用しないときは、直ちにステップ S T 2 2 6 に進む。